



プロジェクタースクリーン用新素材!!

光源の必要な光を強調し、邪魔な光に煩わされない、リビング用スクリーン登場

プロジェクター用のスクリーンと聞くと、投写するには一般的に、暗い特別な部屋が必要だと言うイメージがあります。今回発表いたしますスクリーンは、比較的明るい環境下でも鮮明な映像を結像し、また映像以外の光の影響も受けにくいスクリーン生地です。そのため特にホームシアター用途では、リビングシアターで、ビジネス用途では、間仕切りの十分でないミーティングスペースなどで効果的なスクリーンです。

株式会社オーエス（本社：大阪）、株式会社オーエスプラス e（本社：東京）は、従来のビーズタイプと言われる回帰型スクリーンを、大きく進化させた新製品「オーエス ウルトラビーズ・プレミアムグレー」を発売いたします。光学ビーズの極小化を進め、画像の白さを強調し、生地にグレー顔料を練りこんで、暗部の深みを増す働きをさせ、全体としてしっかり感の強い映像再現を実現しました。

プロジェクタースクリーンの素材は、拡散型のホワイトマット、反射型のパール、そして回帰型のビーズに大きく分けられます。映像の光が当たった点（スポット）から、おわん型に均一に光を反射するのが拡散型で、全スクリーンのおよそ8割がこのタイプのスクリーンです。しかしこのタイプは、光を拡散させるために、有害光（※1）と言われるプロジェクター以外の光も同様に反射するため、その影響を受けやすく、出来るだけ暗い環境を作る必要があります。

ビーズタイプは、投写された光を光源に戻す「回帰性」と言う働きをし、反射する光の強さを増すことにより、多少明るい環境でも、鮮明な映像を得られるように考案された生地です。また回帰性のために、有害光はその光源に向かって戻るために、視聴者側に影響が少なくなるという大きな特長があります（※2）。

しかし従来のビーズスクリーンは、回帰性を得るための極小の光学ビーズを表面に埋め込んでいるために、ビーズの剥落など、取り扱いが面倒で敬遠されがちなスクリーンでした。「ウルトラビーズ・プレミアムグレー」は、更にビーズを小さくし（※3）クリアな皮膜で固定し、生地表面からは、まったくビーズを感じられないスクリーンで、ビーズの剥落の心配もありません。

進化したビーズスクリーン

オーエス ウルトラビーズ・プレミアムグレー

※ウルトラビーズはオーエスの登録商標です。

生地型式：BU202

希望小売価格：スクリーンの機構により異なります。

発売日：3月中旬

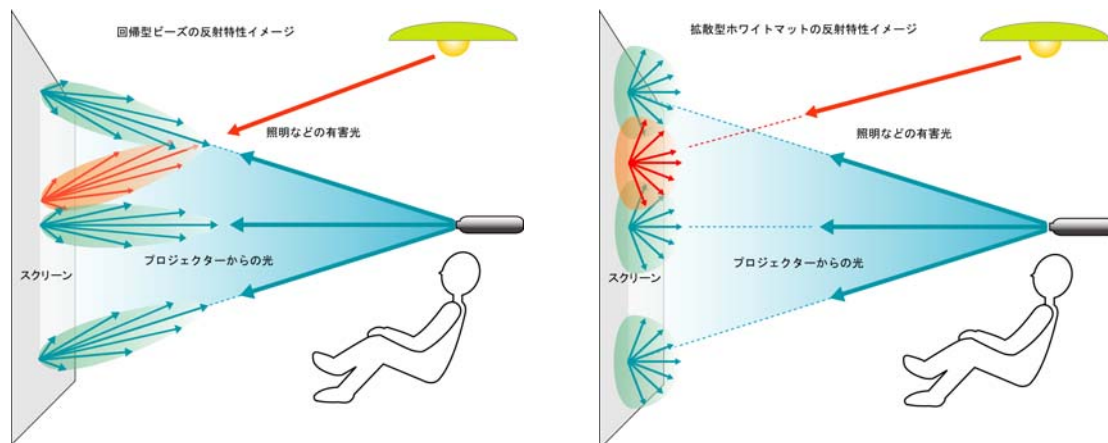


※1. 有害光：窓からの光、照明の光など、プロジェクター以外の映像に有害な光。

スクリーンに当たった映像光の反射による、壁面・家具などからの跳ね返り光を、特に迷光と言う。

※2. 有害光の影響：下図を参照

ビーズ（左）は有害光も光源に戻すが、ホワイトマット（右）は、光を均一に反射するため、映像が有害光の影響を受けやすい。

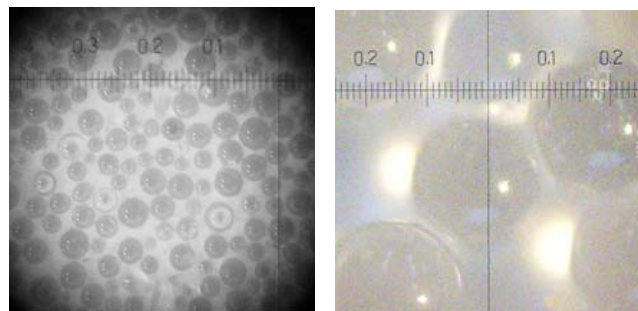


※3. 光学ビーズの大きさ：

当社比/BS101：200 ミクロン（右：従来品）

BU202：20 ミクロン（左：プレミアムグレー）

約 10 分の一まで小さくした。（顕微鏡写真参照）



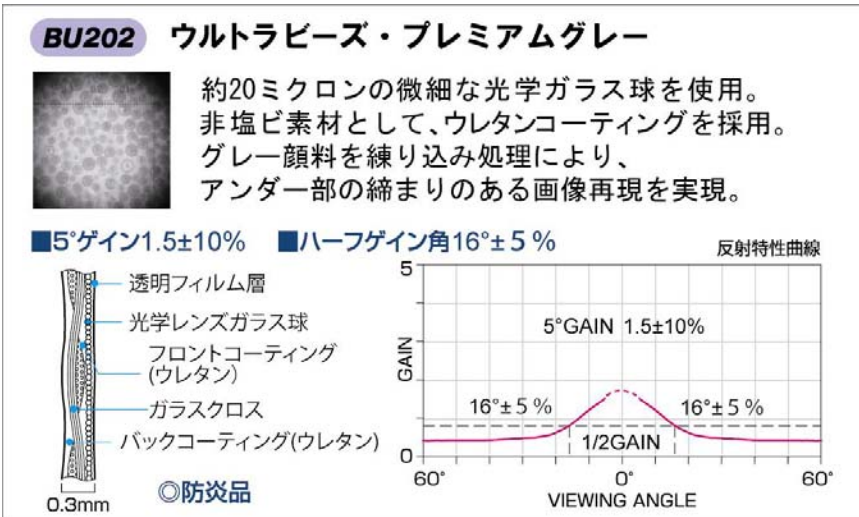
【ウルトラビーズ・プレミアムグレーの主な特長】

- 生地全体のグレー色加工により、映像の暗い部分の白浮きを押さえ、画面全体にしまりを与え、完全暗室を作れない環境下でも、快適な映像を得ることが可能。
- ビーズの回帰特性により、有害光に邪魔をされずに映像鑑賞が可能なスクリーン。
- ランダムなビーズ配置で、モアレ（プロジェクター画素との干渉縞）の発生を防止。（フル HD 対応）
- ウレタンコーティングを採用した、非塩ビスクリーン。
- 極小ビーズを採用しているため、ビーズ特有のざらつき感を低減。
- 極小ビーズをクリアな幕面でコーティング、ビーズの剥落を防止。

【ウルトラビーズ・プレミアムグレーの主な用途】

- 完全遮光のしにくいリビングなどでの映画鑑賞に最適。（ホームシアター）
- 手元資料を見ながら映像プレゼンテーションをする明るい環境の場合。（ビジネスシーン）
- コントラストを強調する、結婚式場などのスクリーンとして。
- アニメーションや CG 映像に、特に優れた効果を発揮。

【ウルトラビーズ・プレミアムグレーのゲインチャート】



※ウルトラビーズは、オーエスの登録商標です。

(注) ゲイン：

スクリーン生地が持つ反射特性を数値で表したものを、酸化マグネシウムの標準白板に光を当てたときの輝度を1とした場合の比率。

【ウルトラビーズ・プレミアムグレーの対応機種】

- ・ 電動スクリーン：E1、EG、EA、ET
- ・ 手動スクリーン：A1、AM、LS、LT
- ・ 張込スクリーン：PA、FR、
- ・ 三脚スクリーン：PT
- ・ 掛図スクリーン：MT
- ・ その他：原則として120型以下（張込型は150型以下）のスクリーンサイズであれば、全ての機種に、イメージ部継ぎ目なしで対応します。

法人のお客様／製品お問合せ先

株式会社オーエス

東京都足立区綾瀬 3-25-18 コンタクトセンター

電話：フリーダイヤル 0120-380-495 FAX：フリーダイヤル 0120-380-496

※接続できない場合には、次の番号をご利用ください。TEL.03-3629-5211 FAX.03-3629-5214

URL <http://jp.os-worldwide.com>

首都圏営業グループ 担当：業務推進グループ E-mail：info@os-worldwide.com

個人のお客様／製品お問合せ先

株式会社オーエスプラス e

東京都足立区綾瀬 3-25-18 コンタクトセンター

電話：フリーダイヤル 0120-380-495 FAX：フリーダイヤル 0120-380-496

※接続できない場合には、次の番号をご利用ください。TEL.03-3629-5211 FAX.03-3629-5214

URL http://jp.os-worldwide.com/os_plus_e/

東京本社 営業部 担当：業務推進グループ E-mail：e.info@os-worldwide.com

株式会社オーエス 会社概要

名称：株式会社オーエス <http://jp.os-worldwide.com>

大阪本社：大阪市西成区南津守 6-5-53 オーエス大阪ビル

東京本部：東京都足立区綾瀬 3-25-18 オーエス東京ビル

創業：昭和 28 年 4 月

資本金：4608 万円

代表者：代表取締役 奥村正之

事業内容：オーエススクリーンのブランドで文教・企業向けに数多くの製品を提供。スクリーンばかりでなく、プロジェクター、フラットディスプレイハンガー等を活用したコミュニケーションシステムの構築。ウォールバック開閉や、ハンガー・バトン昇降・カーテン開閉などをはじめとした装置類の開発・設計・施工からトータルコントロールシステムまで、一貫したソリューションを提供する。

営業所：仙台、首都圏、新潟、名古屋、北陸、京都、大阪、広島、福岡

北海道地区販売代理店：東和 E&C 株式会社

沖縄地区販売代理店：株式会社オーエス沖縄黒板

■関連企業

株式会社オーエスエム 本社：兵庫県宍粟市

株式会社オーエスプラス e 本社：東京都足立区

株式会社オーエス沖縄黒板 本社：沖縄県中頭郡

OSI CO., LTD. (Hong Kong)

株式会社オーエスプラス e 会社概要

名称：株式会社オーエスプラス e http://jp.os-worldwide.com/os_plus_e/

本社：東京都足立区綾瀬 3-25-18

創業：2000 年 10 月

資本金：1000 万円

代表者：代表取締役 奥村正之

事業内容：

2000 年 10 月 12 日創業以来、日本市場に「家庭で映画を」と言う、ホームシアター文化を提案・構築。2009 年 6 月 1 日、社名変更を機にホームシアターに留まらず、更に映像文化に関する幅広い取り組みを推進し、業績拡大を目指す。オーエスグループの中でも、最もエンドユーザーに近い企業として、グループ全体のスローガンである「キモチをカタチに」の実現を目指す。

日本総販売代理店

OPTOMA 社(台湾)／ 世界 NO1 のシェアを持つ DLP プロジェクターメーカー

SCREEN RESEARCH 社 (フランス) ／ THX、ISF 公認のサウンドスクリーンメーカー

VORGEL'S 社 (オランダ) ／フラットディスプレイなどのスタイリッシュハンガーメーカー

EASTONE 社(日本)／国産唯一の THX 認定スクリーン、eco スクリーンを開発する国内メーカー

ニュース発信者

株式会社オーエスマーケティングチーム

藤枝 昭

東京都足立区綾瀬 3-25-18

電話 03-3629-5356 FAX.03-3697-0990

E-mail a.fujieda@os-worldwide.com